

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズサポートりま
------	-----------

公表日 令和7年4月29日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		4月から新規利用を含め3名となるが曜日が分散しているため十分なスペースを確保できます。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		医療的ケア児へは看護師が1名、休憩や送迎時間にも対応できるよう、また一人に負担がかららないよう非常勤を多くして交代制で安全に支援できるようにしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		歩行可能な児は安全に歩行できるようパーを設置、車いす用にスロープが設置されています。トイレは3か所あり児の特性に合わせ使い分けています。	目が届かない場所があり、興奮して動き回る児に対して見守る際に配慮が必要となるため、不必要なものを置かない等の対策はしているものの構造上の死角を無くせるようにしていきたいです。予算や大規模な工事等の時間を考えるとすぐには難しいと考えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		マニュアルに沿った掃除、消毒を徹底し清潔を保っています。普段の掃除以外に床、空調の掃除は定期的に業者へ依頼しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		10	現在、対象となる児がいいため使用することはないが、使用可能である部屋はあります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		業務の間に話し合うことはあるが全体で集まりミーティングを設定していないため、早急に計画、準備を進めていきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		自己評価について未実施であったため、すぐに実行し公表しました。指摘のあった内容について意向、意見を伺い進めているところです。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		個別に話し合うことは日々あるが全体のミーティングがないため早急に計画してまいります。	シフト制でスポットで短時間の職員もいるため全員集まることは難しく、個別に聞き取れるシステムづくりをしていこうと思います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			外部評価について未実施のため今後準備してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		ジョブメドレーアカデミーを利用し全職員に研修を受けてもらっています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		2025年3月に公表しました。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		保護者への聞き取りと、相談員、他施設との情報共有を含め、普段の支援の中から課題を分析して計画を立案しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			計画を日々の支援にも確認できるよう準備しており内容の周知はできていると思います。しかし「すべての職員の共通理解の下」となるよう全職員との意見交換の時間確保が難しく、どのように調査、意見交換を実現できるか検討中です。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		各利用者の計画をすぐに確認できるよう準備し計画に沿った支援を統一できるよう記録しています。休日や対応していない職員が把握できるよう分かりやすく記録しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々の支援内容を記録しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドラインに沿って計画立案しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		医療的ケア児や全介助での移動となる児、音や光に敏感である児等、個別に合わせた活動を多職種で相談し立案しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		室内では季節に合わせた創作活動や感覚遊び、屋外では公園や散歩だけでなく地域性を活かした神社へのお参りや景色を楽しめるように工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		保護者より意向や要望を聴き取り、優先順位を考慮し計画作成、支援の提供をしています。	4月時点で新規利用者含めて3名であり、利用曜日が異なるため集団活動や他児との関わりの活動は行われていません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		行動予定表のホワイトボードを使用し、打ち合わせを行っています。	シフト制のため、途中からの出勤者へは口頭のみで伝えることが多くなってしまいます。キャンセルによる途中での変更も多く、伝達できていないことがあるため改善していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		送迎終了後、日誌や記録を記入しながら振り返りをしています。	シフト制でスポットで短時間の職員もいるため全員集まることは難しく、個別に聞き取れるシステムづくりをしていこうと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		各利用者の計画をすぐに確認できるよう準備し計画に沿った支援を統一できるよう記録しています。休日や対応していない職員が把握できるよう分かりやすく記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		事業所からのモニタリングだけでなく、保護者からの意向や要望に変化があればその都度、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		相談事業所、他施設との連携を取っています。特に新規利用開始の際は、保護者付き添いの利用前に他施設へ様子を見に行く、情報共有をさせてもらう等の連携を取っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		保護者や訪看、相談員を通したかかりつけ医との連携しており嘱託医による月2回の往診があります。当施設以外の利用施設との情報交換を行い支援の連携をしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		相談事業所、他施設との連携を取っています。特に新規利用開始の際は、保護者付き添いの利用前に他施設へ様子を見に行く、情報共有をさせてもらう等の連携を取っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		今年度就学の移行時には区の教員担当の職員の話、就学先の教員、看護師の面談の場に当施設を利用していた、普段の様子について情報共有しました。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	—			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		児童発達支援を受け入れ開始して間もないため、相談員や他施設より助言を受けています。支援センターとの連携の取り方等も助言を受け機会を設けていこうとしています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		医療的ケア児は感染症に注意する必要があり、多数の子どもたちとの関わりは慎重に行っていこうと考えております。屋外のイベント等、雰囲気を楽しめる機会などを検討していきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			送迎時の申し送り以外に、電話やメールで課題や要望を聴取し可能な限り協力できるようにしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		早急に実施できるよう準備していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			利用契約時以外に運営方針の変更や、利用にあたってのお願い等、変更の際に書面で説明をしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			モニタリングシートへまとめ、計画の修正、追加の実施をしています。(児童発達支援では6月を予定しています)
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			修正や追加、要望等がないか確認しながら同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			送迎時、連絡帳、メールや電話でのやり取りができ、早急に対応できるよう常時、職員内で情報共有、話し合いをしています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10		今までの運営では父母の会等の活動がなく、早急に検討し家族への支援として実施していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		送迎時、連絡帳、メールや電話でのやり取りができ、早急に対応できるよう常時、職員内で情報共有、話し合いをしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		利用保護者へは「りま通信」を書面に配布、4月よりInstagramによる発信を開始しました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		保護者の同意書をもとにインターネットや毎月のりま通信への掲載に注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		送迎時、連絡帳、メールや電話でのやり取りができ、早急に対応できるよう常時、職員内で情報共有、話し合いをしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		事業所の運営の安定が図られた上で行事を行っていきます。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	3月に水害訓練を実施しました。感染症に対しては嘱託医と連携し対応策を作成しています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		通所中以外での内服等を含め、指示書とセットで一目で把握できるよう準備しています。判断を迷う内容では保護者と相談し連絡を希望される場合にも対応できるように記載しています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		現在対象者ないが(利用開始前に調査を徹底している)、食事前後の呼吸状態、皮膚状態に注意して変化があった場合は保護者へ報告しています。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		送迎車両の運転から緊急対応、BCPについてWEB研修を全職員が受けています。	事業所内での避難訓練や緊急対応だけでは不足するため、消防から出向訓練を依頼しています。5月に実施予定で今後も継続していきます。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			新規利用の家族を含め、早期に周知し連携を図れるようにしていきます。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		当事業所内、他施設からの情報共有も含め申し送りノートに添付し確認しています。	スポットで短時間勤務、月に1～4日勤務の非常勤が委員会に参加することが難しく、意見交換の方法を検討していく必要があります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		全職員へWEB研修を受けてもらい、委員会後にチェックリストで自己評価をしています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		4月時点の利用者で対象の児はいないため、研修と委員会のみで必要なことを周知しています。		